

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-55℃～+105℃ $\triangle$	保存温度範囲	-10℃ ～ +50℃ (梱包状態)	
	電 圧	AC/DC 30V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下 (結露しないこと)	
	電 流	0.2A	適合ケーブル	t=0.2±0.03mm:金めっき	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	耐電圧	AC 90Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	絶縁抵抗	DC 100Vで測定する。	50MΩ以上	○	○
	接触抵抗	開回路電圧AC 20mV以下、1mAで測定する。	100mΩ以下 ※FPC導体抵抗を含む。(測定長 12mm)	○	○
機 械 的 性 能	耐振性	周波数 10～55Hz、片振幅 0.75mm、 3軸方向各10サイクル試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②接触抵抗: 100mΩ以下 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	衝撃	加速度 981m/s ² 、持続時間 6ms、 正弦半波 3軸両方向各3回試験する。		○	—
	繰返し動作	10回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 100mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	FPC保持力	適合FPCで測定する。 (未使用状態、FPC端末厚 t=0.20mm)	水平方向 0.2×極数 N以上	○ (注)	—
環 境 的 性 能	塩水噴霧	温度 35±2℃、濃度 5%の塩水噴霧中に、 96時間放置する。	①接触抵抗: 100mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。 ③はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30 → 2～3 → 30→ 2～3分 に、5サイクル放置する。	①接触抵抗: 100mΩ以下 ②絶縁抵抗: 50MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、相対湿度 90～95%中に、 96時間放置する。		○	—
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10～+65℃、相対湿度 90～96%中に、 10サイクル(240時間)放置する。	①接触抵抗: 100mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1MΩ以上 (高湿時) ③絶縁抵抗: 50MΩ以上 (乾燥時) ④破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐熱性	温度 85±2℃中に、96時間放置する。	①接触抵抗: 100mΩ以下	○	—
	耐寒性	温度 -55±3℃中に、96時間放置する。	②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	二酸化硫黄 [JIS C 60068-2-42]	温度 40±2℃、相対湿度 80±5%、 濃度 25±5ppmに、96時間放置する。	①接触抵抗: 100mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	硫化水素 [JIS C 60068-2-43]	温度 40±2℃、相対湿度 80±5%、 濃度 10～15ppmに、96時間放置する。	③はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 235±5℃、 浸せき時間 2±0.5秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95%以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	—
はんだ耐熱性	1)リフローの場合 ピーク温度 250℃MAX 230℃以上、60秒以内 2)はんだこての場合 350±10℃、5±1秒間	外観の変形、及び端子などに 著しいガタがないこと。	○	—	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
$\triangle$	1	DIS-F-00000511	YH. MICHIDA	YN. TAKASHITA	15.07.29
備考 試験規格の記載のない試験方法は、IEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。 注) FPCに垂直方向の荷重が加わる場合は、FPCを固定してご使用願います。 FPC未挿入の状態でごくさせないでください。本製品は、上下接点仕様です。			承認	NF. MIYAZAKI	14.11.10
			検 図	YN. TAKASHITA	14.11.10
			担 当	YS. EBI	14.11.10
			製 図	RK. OGASAWARA	14.11.08
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-338903-08	
HRS	製品規格表		製品名	FH35C-**S-0.3SHW (99)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL580	$\triangle$ 1/1